

## 行政視察報告

視察日時	令和4年5月11日（水） 13:30～14:30
視察場所	鶴岡市（米沢市議会委員会室でのオンラインによるリモート視察）
視察項目	鶴岡サイエンスパーク・鶴岡市先端研究産業支援センターについて
視察者	常任委員会委員7名 事務局職員1名
視察概要	<p>鶴岡サイエンスパークとは、平成13年4月慶應義塾大学先端生命科学研究所（以下「慶應先端研」）の誘致・開設によって幕を開け、山形県と鶴岡市が研究教育活動に対してそれぞれ年間3.5億円（計7億円）の補助金で支援しながら、三者が共同でバイオ分野の研究開発を行っている、いわば「街」のことです。その街を主に形成しているのは、慶應先端研発のバイオベンチャー企業であり、平成15年9月に慶應先端研発バイオベンチャー企業第一号、HMT(株)を設立しました。それらの起業を更に加速し得た要素として、鶴岡市として平成17年4月、市営貸事業場（現：市先端研究産業支援センター）を開設。3室のラボを供用開始して以降、平成29年度までに合計62室のレンタルラボを整備、供用するなど事業活動に力を注いでいることだと考えます。慶應先端研から生まれたバイオベンチャー企業は合計で6社にまで拡大し、創設後も慶應先端研との連携によって、着実に事業化を加速させています。</p> <p>（以下、6社の企業説明）</p> <p>① ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 代謝物質の網羅解析技術を核とし、企業及び大学・公的機関向けに研究開発支援やバイオマーカー開発を行う</p> <p>② Spiber（スパイバー）株式会社 人工合成クモ糸をはじめとした構造タンパク質素材を開発、新世代の産業基盤素材としての大規模な普及を目指す</p> <p>③ 株式会社サリバテック がんを早期発見するための唾液検査を展開</p> <p>④ 株式会社メタジェン 独自に開発した腸内環境評価技術による個別化ヘルスケアで病気ゼロ社会の実現を目指す。</p> <p>⑤ 株式会社メトセラ 心不全向けの再生医療等製品の研究・開発</p> <p>⑥ 株式会社 MOLCURE 次世代シーケンサーと人工知能（AI）を使った抗体医薬品の開発</p> <p>以上、視察を行った際に御紹介のあった素晴らしい企業ですが、一般的にバイオベンチャー企業の育成については、起業まで時間がかかる側面がありますが、鶴岡市として地道に「レンタルラボ」等の運営に協力しながら</p>

	<p>ら、対応を継続して来ております。</p> <p>次に、直接市民との連携を実現している施策を二つ御報告いたします。</p> <p>◇高校生研究助手・特別研究生制度</p> <p>研究のみならず若者の人材育成として、高校生、大学生の研究教育プログラムを展開し、研究所に隣接する高校の生徒を「研究助手」として任用するプログラムを 2009 年度から開始。2011 年度から「将来、博士号をとって世界的研究者になりたい」という大きな夢をもった高校生を「特別研究生」として受入れ、研究活動の支援も行っています。</p> <p>◇がん医療</p> <p>鶴岡市内の事業所・団体と連携しながら、がんの発生や増殖に関わるさまざまな代謝物質すべて解析し、がん発症に関わる代謝動態を明らかにし、新しいタイプの抗がん剤の開発を目指す取組も実施しています。</p>
<p>本市に生 かせる 視点</p>	<p>米沢サイエンスパーク的構想等への取組を強く意識し、行政としても関わりを強化していく必要があるものと考えます。</p> <p>サイエンスパーク構想とは、地域の大学・公的研究機関等で生まれた研究成果を事業化につなげ、地域が成長しつつ一億総活躍を実現していくために、企業と大学・公的研究機関等が連携し、研究等の成果を実証するための施設・設備を整備し、誘致につなげていく計画とするものです。</p> <p>言わば「提案」次第では、鶴岡市と同じように、国や県からの予算なども見込めるものであり、大いに取り組むべき価値があると考えます。</p> <p>今までも本市にある大学との交流・制度設計は数々ありますが、本市の場合、大学・公的研究機関等を拠点とし、研究室、複数企業及び地方自治体が一つの施設・地域等に結集できる仕組み(鶴岡市のようなレンタルラボ等)が整備されていません。それには「取組・研究課題」をできるだけ「特化」したものにしていける必要があると考えますが、それらの取組の結果として「産学官連携体制」を、基盤から強化・整備することに繋がり、それに応える民間資金を呼びこみつつ、地域で生まれた研究開発成果が、地域産業の拡大や新たな事業化の実現に資するものであれば、地域の雇用創出と経済活性化を生み出す好循環構想が生まれものと考えます。本市には、山形大学工学部・県立米沢女子短期大学・県立米沢栄養大学があり、産学官連携を、互いの研究や強みを結集した組織に構成するための取組・制度設計について、率先して米沢市が指導性を発揮し、今後の地域活性化を促進していくことは大変重要なことであると考えます。</p>